

北海道科学大学で出前授業  
成果が見えてきた、弘前大！  
Jobway2026 オープン

全道共同求人委員会は、全道で繰り広げられる共同求人活動を応援しています。  
共同求人活動に登録いただいている皆さんに情報を伝えております。

## 課題の共有と情報交換ができた～8/30 学校教職員と企業との懇談会～

学校教職員と企業との懇談会を、学校 19 校 22 名、企業 42 社 45 名の参加で開催しました。北海道教育大学岩見沢校 宇田川教授と北星学園大学就職課 小塚氏が「学生の就職活動の現状」をテーマにご報告。その後の学校・企業混合のグループ討論では「企業と学校の連携が重要だと改めて認識した」「学生に対する悩みは学校も企業も共通している。難しいことも多いが、解決に向けて一緒に取り組まないといけない」との声が上がっていました。今回の懇談会には先生が多く参加され、続く名刺交換会でも「新しい接点を築けた」と企業側から喜びの声が聞かれました。



## 弘前大学からインターンシップ

11月6日、7日の今年2回目の弘前大学北海道セミナーでは会員企業、北海道などの団体が会場収用限界の28社、3団体が参加します。

今年の6月に開催したセミナーの学生の反応を調査したところ20社から回答があり、「面談した学生と連絡を取っている」が10社17人、その内「インターンシップを受け入れた企業」が10社15人となりました。6月は主な参加者が3年とあって、内定者はありませんがインターンシップから来年の内定につなげたいとの意見も寄せられました。

コツコツと弘前大学との関係を積み上げてきた8年間。

具体的な成果が見え始めました。



北海道科学大学機械工学科「先端機械技術論Ⅱ」で求人誌から北海道ならではの技術を生かして全国や世界に活躍している企業を抽出し学生に紹介、11月には実際に企業と学生のディスカッションを予定しています。

## キャリア授業で求人誌の各社紙面が大活躍！！

札幌市立大学では、キャリア授業「働くことを考えよう」で求人誌からいくつかの企業を抜粋事前に学生へ見てもらい、学生目線での疑問や相談に企業の若手社員が答える授業を12月に予定しています。このように、求人誌の各社紙面が授業やセミナーで活用され始めました。